PCサイトはこちら

http://www.tohbu.co.jp

モバイルサイトはこちら

http://www.tohbu.jp

株　主　メ　モ

●事　業　年　度……………毎年4月1日から翌年3月31日まで

●定時株主総会……………毎年6月開催

●基　　準　　日……………定時株主総会　　毎年3月31日
期末配当金　　毎年3月31日
中間配当金　　毎年9月30日
（中間配当をする場合）
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。

●株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関……東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

●株主名簿管理人
事務取扱場所……………………東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（郵便物送付先）　〒168－0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）　0120－782－031

（インターネットホームページURL）
http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

●公告掲載新聞……………………日本経済新聞

●上場証券取引所…………………東京証券取引所JASDAQ市場（スタンダード）

●証券コード…………………………9036

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記ＵＲＬにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード　9036

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

e-株主リサーチ®

※本アンケートは、株式会社　a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社　a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）　※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ　「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）
MAIL:info@e-kabunushi.com

TOHBU NETWORK

株主通信

第103期 中間期
平成27年４月１日から
平成27年９月30日まで

バラセメントトレーラー車両

ハイテクローリー車両

太陽光発電所
（東部北陸物流センター）

ケミカル車両

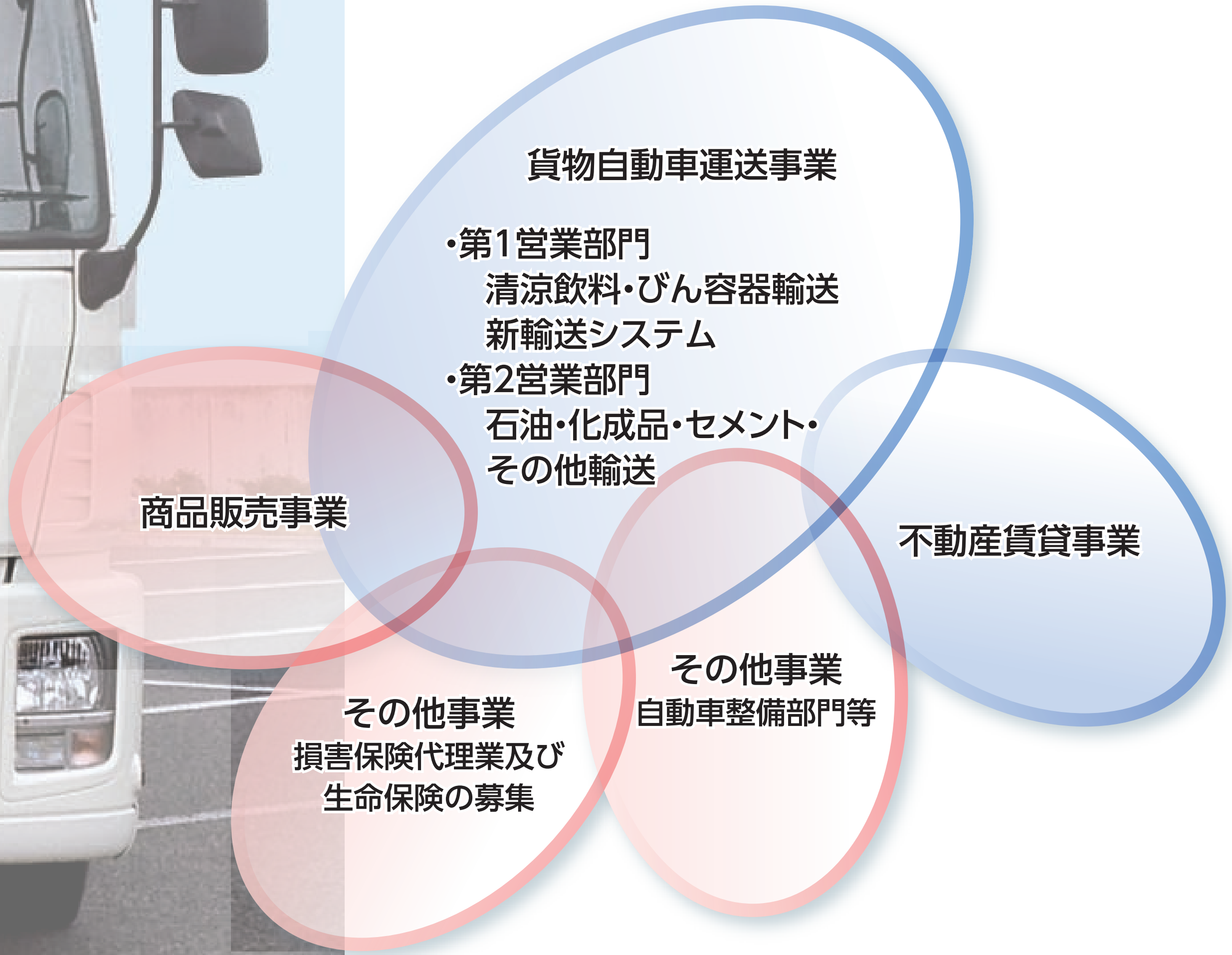
ウイング車両

環境にやさしい物流企業

東部ネットワーク株式会社
証券コード：9036

総合物流企業としてのワイドな取り組み。「東部ネットワーク」の多彩な事業フィールド。

「東部ネットワーク」が展開するビジネス領域は、現在4事業5部門。
広い視野で積極的にビジネスを開拓しながら、同時に確実な収益性や効率性を追求。
着実な事業の多角化を推進しています。



株主の皆様へ

株主の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第103期第2四半期累計期間（平成27年4月1日から同年9月30日まで）の事業の概況と、第2四半期（中間）決算につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間のわが国経済は、中国や新興国経済の減速で輸出が伸び悩んでおりますが、内需はデフレ脱却機運により投資の拡大や、インバウンド（外国人観光客消費）も加わり緩やかな回復基調が続いております。

当貨物自動車運送業界におきましては、消費関連貨物は堅調に推移いたしましたが、建設関連貨物等が減少し、総輸送量は減少いたしました。また、運転手不足に対する労働環境の改善や安全対策の強化で、輸送コストは上昇傾向にあります。

当社はこのような状況下、日本初の新規制緩和トレーラー車（飲料等輸送車）の導入に成功いたしましたので、主要荷主に合理化・効率化提案営業を積極的に展開し、成果を上げることができました。更に前期不振が続いた商品販売事業と不動産賃貸事業におきましても、大幅に改善することができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、68億2千5百万円（前年同期比3.9％増）、営業利益は7億7千7百万円（前年同期比65.5％増）、経常利益は8億1千7百万円（前年同期比64.5％増）、四半期純利益は5億4千9百万円（前年同期比70.2％増）となりました。

※尚、第2四半期末の中間配当金につきましては、1株につき7円50銭とさせていただきます。

今後の景況につきましては、一部に弱さが見られますが緩やかな回復が続くものと思われますので、既存荷主との取引深耕に加えて、新規事業の獲得に向け引続き新輸送システムの拡大や、JLNA（日本物流ネットワーク）との提携により営業範囲も拡大しておりますので、成長に向けて新規制緩和トレーラー車の積極的導入や、営業所新設等も含め設備投資を行い、事業拡大に向けて鋭意努力を続けてまいります。

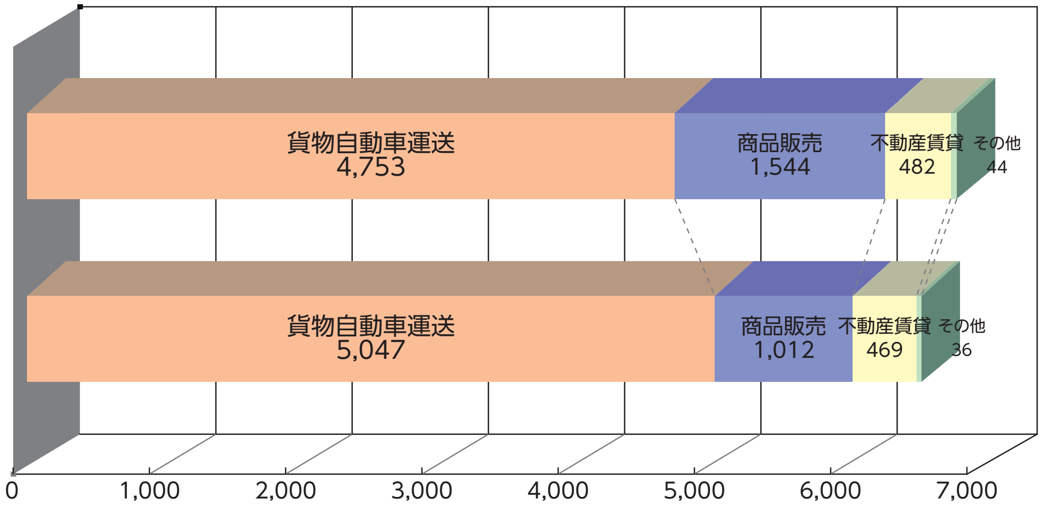
更に、運転手不足等の問題につきましては、定年延長や福利厚生面の充実を図り、労働環境を意識した政策を実行して行く所存であり、継続して諸経費の削減努力をしてまいりますので、株主の皆様におかれましては、尚一層のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成27年12月

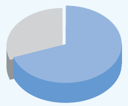
代表取締役社長
芦 原 一 義

事業の概況

〈セグメント別 売上高〉



貨物自動車運送事業（前年同期比5.8％減）



売上高 4,753百万円
売上構成比 69.6%

◎ 第1営業部門
1. 清涼飲料輸送は、例年に比べて早い猛暑の到来となりましたが、その後天候不順が長引きましたことに加え荷主の合理化もあり、輸送量が減少し、減収となりました。
2. びん・容器輸送は、食品類を中心としたびん製品がペットボトルや紙容器等の軽量化製品に移っており、大きく輸送量が減少しておりますので、当該輸送は採算重視の輸送体制に切替えましたので、減収となりました。
3. 新輸送システム等は、新規にビールメーカー等の取込みが奏功し、繁忙期と重なり輸送量が大幅に増加いたしましたので、新規制緩和トレーラー車を集中的に投入し対応いたしましたので、大幅な増収となりました。

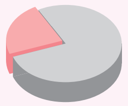
この結果、第1営業部門の売上高は、前年同期比6.4％減となりました。

◎ 第2営業部門
1. 石油輸送は、原油安に伴い需要が増加傾向になりましたので、輸送量が増加し、増収となりました。
2. 化成品輸送は、輸送量に対応した人員補強ができましたので、増収となりました。
3. セメント輸送は、ビルなどの民間建設需要は底堅く推移しておりますが、大型公共工事の一段落で輸送量が減少し、減収となりました。
4. その他輸送は、小型車の専属契約車に合理化要請があり減収となり、新規事業のトレーラー車による牛乳輸送は増車いたしましたが減収となりました。

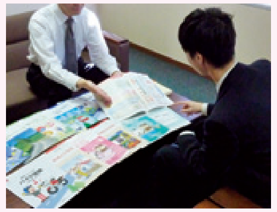
この結果、第2営業部門の売上高は、前年同期比2.9％減となりました。

● 以上から、当貨物自動車運送事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、47億5千3百万円（前年同期比5.8％減）となりました。

商品販売事業（前年同期比52.5％増）



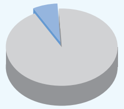
売上高 1,544百万円
売上構成比 22.6%



◎ 1. 当事業の主力販売品である石油製品は、新規の納入先との取引が順調に推移して、増収となりました。
2. セメント販売につきましても、ゼネコンとの取引が拡大し、大幅な増収となりました。
3. 車両販売等につきましては、大型車や乗用車の成約で増収、リース販売は、複数の乗用車の成約ができましたが減収となり、ソフトウェア販売につきましては、前期並となりました。

● この結果、当事業の売上高は、15億4千4百万円（前年同期比52.5％増）となりました。

不動産賃貸事業（前年同期比2.8％増）

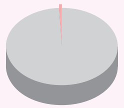


売上高 482百万円
売上構成比 7.1%

◎ 当社の提供する各種賃貸施設のうち、
1. 自社施設の提供につきましては、テナントビルで一部空室が出ておりますが、太陽光発電の屋根貸し等により増収となりました。
2. 借上施設の提供につきましては、厚木施設の有効利用により増収となりました。なお、同施設は平成27年5月で返還いたしました。

● この結果、当事業の売上高は、4億8千2百万円（前年同期比2.8％増）となりました。

その他事業（前年同期比22.0％増）



売上高 44百万円
売上構成比 0.7%

◎ 1. 自動車整備事業につきましては、内需が回復傾向にありますので、遊休車両の車検、整備が増加したことに加え、ディーラー取引も拡大しておりますので、増収となりました。
2. 損害保険代理業等につきましては、新規に法人の火災保険契約が成約いたしましたが、既存大口フリート契約の更新が不調に終わり、減収となりました。

● この結果、当事業の売上高は、4千4百万円（前年同期比22.0％増）となりました。

設備投資等および資金調達の状況

設備投資の総額は3億8千6百万円で、内訳は有形固定資産3億8千5百万円、無形固定資産1百万円であります。

有形固定資産の内訳は、業務用車両42両3億3千8百万円、大井川営業所移転用土地3千7百万円等であります。無形固定資産の内訳は、荷主との輸送情報対応ソフトウェア1百万円等であります。

なお、所要資金は全額自己資金で充当いたしました。

財務諸表

四半期貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第２四半期 (平成27年９月30日現在)	前期末 (平成27年３月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	**5,910,480**	**5,220,659**
現金及び預金	4,046,325	3,706,963
受取手形及び営業未収入金	1,455,092	1,281,861
原材料及び貯蔵品	22,184	22,071
その他	391,915	214,116
貸倒引当金	△ 5,037	△ 4,353
固定資産	**14,849,782**	**14,583,954**
有形固定資産	**12,076,467**	**11,750,889**
建物	3,042,079	3,114,036
車両運搬具	582,273	381,832
土地	7,520,861	7,520,861
リース資産	643,007	463,859
その他	288,245	270,298
無形固定資産	**48,230**	**60,832**
投資その他の資産	**2,725,084**	**2,772,233**
投資有価証券	1,146,075	1,192,323
その他	1,581,906	1,582,808
貸倒引当金	△ 2,897	△ 2,898
資産合計	**20,760,263**	**19,804,614**

(単位：千円)

科目	当第２四半期 (平成27年９月30日現在)	前期末 (平成27年３月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	**2,083,457**	**1,764,690**
支払手形及び営業未払金	964,239	822,502
未払金	380,405	138,702
未払費用	214,615	173,708
未払法人税等	277,850	179,475
未払消費税等	59,566	156,420
引当金	82,027	174,420
その他	104,752	119,460
固定負債	**2,579,712**	**2,420,068**
リース債務	659,264	468,446
繰延税金負債	1,066,546	1,086,331
再評価に係る繰延税金負債	111,591	111,591
引当金	131,817	125,778
長期前受金	45,393	48,167
長期預り保証金	550,100	564,160
資産除却債務	14,998	15,592
負債合計	**4,663,170**	**4,184,759**
(純資産の部)		
株主資本	**16,187,390**	**15,678,202**
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	527,722	527,722
利益剰余金	15,356,895	14,847,707
自己株式	△ 250,259	△ 250,259
評価・換算差額等	**△ 90,296**	**△ 58,347**
その他有価証券評価差額金	347,881	379,831
土地再評価差額金	△ 438,178	△ 438,178
純資産合計	**16,097,093**	**15,619,855**
負債純資産合計	**20,760,263**	**19,804,614**

四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	当第２四半期 (平成27年４月１日から 平成27年９月30日まで)	前第２四半期 (平成26年４月１日から 平成26年９月30日まで)
売上高	**6,825,007**	**6,566,300**
売上原価	**5,845,908**	**5,914,061**
割賦売上等利益調整	△ 176	△ 330
売上総利益	**978,922**	**651,908**
販売費及び一般管理費	201,481	182,171
営業利益	**777,441**	**469,736**
営業外収益	**46,440**	**31,159**
営業外費用	**6,192**	**3,922**
経常利益	**817,689**	**496,973**
特別利益	**17,959**	**12,220**
特別損失	**1,027**	**0**
税引前四半期純利益	**834,620**	**509,194**
法人税、住民税及び事業税	267,968	190,121
法人税等調整額	16,850	△ 3,980
四半期純利益	**549,801**	**323,053**

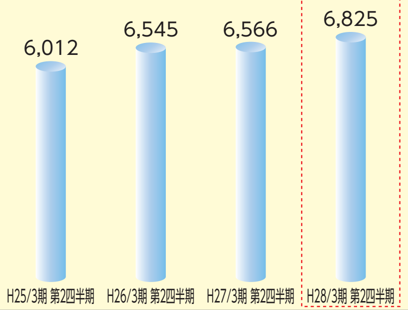
四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)

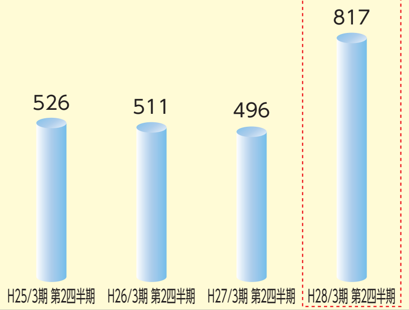
科目	当第２四半期 (平成27年４月１日から 平成27年９月30日まで)	前第２四半期 (平成26年４月１日から 平成26年９月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	742	328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 153	△ 185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 50	△ 125
現金及び現金同等物の増加額	539	17
現金及び現金同等物の期首残高	3,596	3,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,136	3,072

財務ハイライト

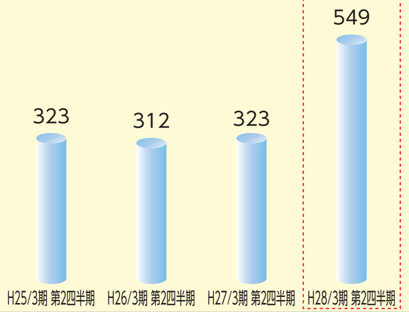
■ 売上高(百万円)



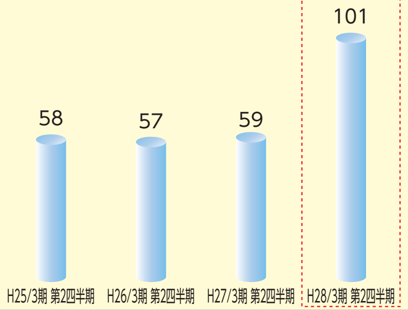
■ 経常利益(百万円)



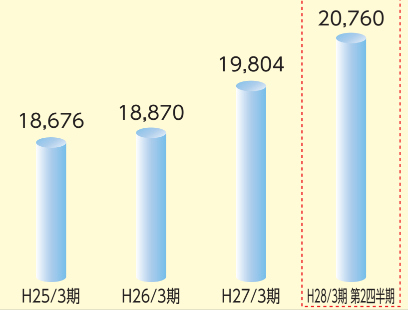
■ 四半期純利益(百万円)



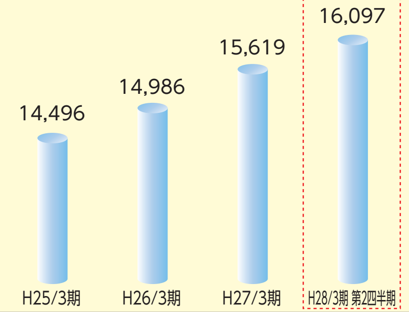
■ 1株当たり四半期純利益(円)



■ 総資産(百万円)



■ 純資産(百万円)



投資家の皆様からのご質問にお答えします!

Q 日本物流ネットワーク協力会(JLNA)を発足されたようですが、各社の強みと発足後の連携進捗について教えてください。

各社とも特徴的な強みを持ち、長く地域に根差して経営しております。そのため、財務的にも安定しており、今後戦略的な連携が可能な基盤ができております。

JLNAの具体的な進捗ですが、すでに定期的に分科会を開催し、取り組みの共有から実際に営業連携ができております。

【東部ネットワークの強み紹介】

VOL.2

お客様のニーズに合わせ
繁閑のコントロールが可能
＝　**効率性が高い**

TOPICS I 新大井川営業所（仮称）の土地を取得しました。

【新大井川営業所（仮称）完成予想図】

関東圏、関西・中京圏を結ぶ基幹営業所として来年6月頃竣工予定です。

TOPICS II 第44回 東京モーターショーへ出展しました。

日本第一号の新規制緩和トレーラー

当社の強みであるトレーラー化を加速する新しい投資とし稼働を開始しました。

【飲料用30PLトレーラー車】
ソーラーパネル搭載でバッテリー充電が可能

実用新案取得済み！新緩衝材マット

当社で実用新案を取得したカーテンスライド式センターマットも展示しました。

株式の状況

株式の状況

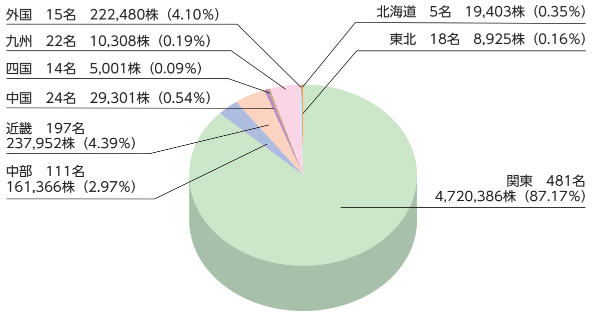
平成27年9月30日現在

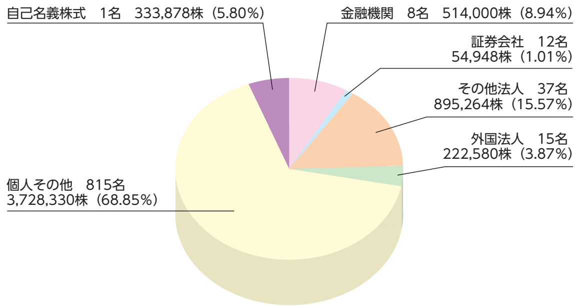
(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	888名

(5) 大株主

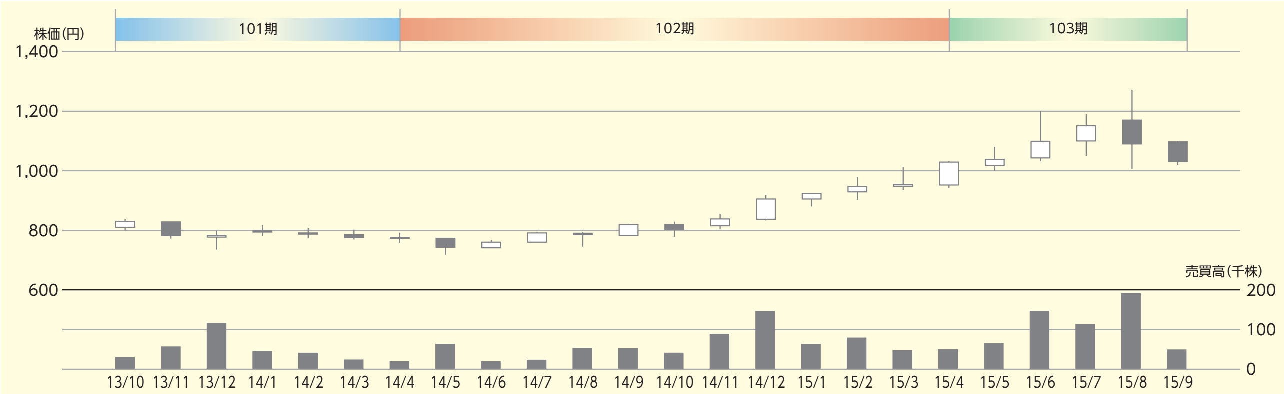
株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
中村　亘宏	14,150	26.13
アサガミ株式会社	3,210	5.92
株式会社みずほ銀行	2,620	4.83
BBH	1,250	2.30
中村　千鶴子	1,200	2.21
三井住友信託銀行株式会社	1,100	2.03
中村　匡弘	1,012	1.86
清水　和枝	1,000	1.84
丸全昭和運輸株式会社	1,000	1.84
芦原　一義	972	1.79

(注) 持株比率は自己株式3,338百株を控除して計算しております。





株価の推移



会社概要

会社の概要

平成27年9月30日現在

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 商品販売事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員の状況	合計424名 (男性402名 女性22名)

役員一覧

平成27年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)	芦原　一義
取締役副社長 (代表取締役)	山本　穰
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤　秀幸
常務取締役 兼常務執行役員	若山　良孝
取締役 兼執行役員	髙山　裕之
取締役 兼執行役員	伊藤　進
取締役 兼執行役員	杉本　尚久
取締役 兼執行役員	古川　智洋
取締役	野口　誠
常勤監査役	大澤　寿恵光
監査役	安齋　英明
監査役	西山　俊紀

(注) 1. 取締役のうち野口誠氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち安齋英明および西山俊紀の両氏は、社外監査役であります。

事業所

本社　〒221-0052
横浜市神奈川区栄町2番地の9（東部ヨコハマビル）
045（461）1651

事業所

鶴見営業所	横浜市鶴見区
大黒町営業所	横浜市鶴見区
海老名営業所	神奈川県海老名市
東部海老名物流センター	神奈川県海老名市
共配センター	神奈川県海老名市
相模原営業所	相模原市中央区
厚木営業所	神奈川県海老名市
郡山営業所	福島県郡山市
新潟営業所	新潟県新発田市
埼玉営業所	埼玉県深谷市
高崎営業所	群馬県高崎市
鹿島営業所	茨城県神栖市
習志野営業所	千葉県習志野市
袖ケ浦営業所	千葉県袖ケ浦市
静岡営業所	静岡県富士市
名古屋営業所	愛知県一宮市
大井川営業所	静岡県焼津市
播磨営業所	兵庫県加古郡
東部北陸物流センター	富山県砺波市
北陸営業所	富山県砺波市
鶴見整備工場	横浜市鶴見区
仙台出張所	宮城県仙台市